

基本理念	水道ビジョンの観点	将来像	方向性と基本方針	施策の柱	No.	施策	主要事業区分	No.	事業名称	(参考)		主な事業内容等
										継続新規	視察費他	
未来に引き継ぐいわきの水道 く安全でおいしい水が必要なだけく	安全ハ水道水の安全の確保V	将来像1 安全を確保し、おいしい水道水を供給できる水道	方向性1 安全でおいしい水道水の供給 基本方針 水源から蛇口までの統合的な安全対策の推進により、安心して飲める水道を目指す	1.1 水安全対策の着実な実施による良好な水質の保持	1	水安全計画の推進		1	・水安全計画の推進	継続	1	水安全計画の進捗管理と改定
					2	水道水源の保全と監視		2	・水道水源の保全と監視強化	継続	2,4	水源河川監視、ゴルフ場の排水調査、小野町路棄物最終処分場の立入調査、隣接自治体連携、水源保全基金事業、水源地清掃活動
					3	良質な水道水の維持・向上		3	・水道水源水質保全促進事業補助金の交付	継続	3	合併浄化槽補助、農集接続補助
				1.2 水質検査の充実による適正な水質管理の維持	4	水質検査計画の推進		4	・安全でおいしい水道水の調査研究	継続	5,6,7	高度浄水処理方式(浄水課)、効率的な浄水処理方式の調査検討(浄水課)、追加塩素注入設備安定運用のための調査検討(配水課)
					5	水質管理体制の強化と設備の充実		5	・水質検査計画の策定と推進	継続	8	水質検査計画の策定(毎年)。水質検査。クリプト及びダイオキシン類調査
					6	放射性物質のモニタリング		6	・水質検査機器の計画的整備・更新	継続	9	水質検査機器の購入・更新
				1.3 安心して飲める水道の普及促進	7	給水装置等の適正管理の促進		7	・水道GLP認定の取得と維持	新規	-	水道GLPの認定の取得、維持
					8	多様な手法による水供給の研究		8	・放射性物質モニタリングの継続	継続	10	放射性物質モニタリングの実施と公表。検査機器の更新
					9	水道施設再構築構想の推進		9	・貯水槽水道の適正管理の推進	継続	11	貯水槽水道の適正管理の啓発。貯水槽水道台帳の整備更新
					10	水道施設の効率運用の検討と管理		10	・直結給水・直結増圧給水の推進	継続	12	直結給水及び直結増圧給水の推進
					11	水道施設の新設・更新		11	・鉛製給水管の布設管の推進	継続	13	鉛給水管解消計画の推進及び解消事業の実施。鉛給水管の注意喚起。鉛給水管台帳の整備更新
					12	水道施設耐震化計画の推進		12	・多様な手法による水供給の研究	継続	14	多様な手法による水供給による給水区域内未給水地区解消の検討
				2.1 水需要を踏まえた施設再編による水道システムの最適化、安定化	13	水道施設再構築構想の推進	主要	13	・水道施設再構築構想の推進	継続	15	水道施設再構築構想の進捗管理と適時改訂
					14	水道施設の効率運用の検討と管理		14	・浄水場再整備事業	新規	-	浄水場の再整備事業
					15	水道施設の新設・更新		15	・水道施設のダウンサイジングの検討	新規	-	水道施設のダウンサイジングとスペックダウンの検討。施設規模の適正化。適正口径での更新。管路の単線化の推進など
					16	水道施設の効率運用の検討と管理		16	・水道施設の効率的な運用	継続	16	効率的な水運用の検討。管理メーターの検討など
					17	水道施設の撤去事業		17	・水道施設の撤去事業	継続	20	水道施設(管路、配水施設、浄水施設)の撤去工事、構造物の撤去方針の策定、見直し
					18	水道施設整備計画の推進		18	・水道施設整備計画の推進	継続	21	水道施設整備計画の進捗管理と適時改訂
					19	水道施設新設事業		19	・水道施設新設事業	継続	18,19,34,36	浄水施設の新設、配水施設の新設 ※管路の新設は管路整備事業 ※庁舎設備の新設含む ※給水区域等拡張に伴う施設の新設は含まない
					20	水道施設更新事業	主要	20	・水道施設更新事業	継続	28,29,34,36	浄水施設の更新、配水施設の更新 ※施設単位での更新含む ※庁舎設備の更新及び庁舎の再整備含む
				2.2 個別対策と相互融通体制の構築による水道システムの強靱化	21	水道施設耐震化計画の推進		21	・水道施設耐震化計画の推進	継続	21	水道施設耐震化計画の進捗管理と適時改定 ※管路の事業展開は管路整備計画
					22	水道施設耐震化事業	主要	22	・水道施設耐震化事業	継続	26,27	水道施設の耐震化の実施(生活基盤施設耐震化等交付金事業 1/4)
					23	水道施設津波・浸水対策計画の推進		23	・水道施設津波・浸水対策計画の推進	新規	-	水道施設津波・浸水対策計画の進捗管理と適時改定
					24	水道施設津波・浸水対策事業	主要	24	・水道施設津波・浸水対策事業	新規	-	水道施設津波・浸水対策の実施(水道水源開発等施設整備費国庫補助金事業 1/3)、本庁舎の浸水対策の実施
					25	水道施設土砂災害対策計画の推進		25	・水道施設土砂災害対策計画の推進	新規	-	水道施設土砂災害対策計画の進捗管理と適時改定
					26	水道施設土砂災害対策事業	主要	26	・水道施設土砂災害対策事業	新規	-	水道施設土砂災害対策の実施(水道水源開発等施設整備費国庫補助金事業 1/3)
					27	水道施設停電対策計画の推進		27	・水道施設停電対策計画の推進	継続	35	水道施設停電対策計画の進捗管理と適時改定
					28	水道施設停電対策事業	主要	28	・水道施設停電対策事業	新規	-	水道施設停電対策の実施(水道水源開発等施設整備費国庫補助金事業 1/4)
					29	管路の新設・更新等による相互融通体制の構築と管路の強靱化		29	・管路整備計画の推進	新規	-	管路整備計画の進捗管理と適時改定
					30	基幹浄水場連絡管整備事業	主要	30	・基幹浄水場連絡管整備事業	継続	17	基幹浄水場連絡管の整備
					31	重要給水施設配水管整備事業	主要	31	・重要給水施設配水管整備事業	継続	25	重要給水施設配水管の耐震化(生活基盤施設耐震化等交付金事業 1/4)
					32	老朽管更新事業(基幹管路)	主要	32	・老朽管更新事業(基幹管路)	継続	24	導水管路線、送水管路線、水系幹線、配水本管路線の更新(生活基盤施設耐震化等交付金事業 1/3)
					33	老朽管更新事業(配水支管 φ200mm以上)		33	・老朽管更新事業(配水支管 φ200mm以上)	継続	24	配水支管 φ200mm以上の老朽管更新
					34	老朽管更新事業(配水支管 φ200mm未満)		34	・老朽管更新事業(配水支管 φ200mm未満)	継続	24	配水支管 φ200mm未満の老朽管更新
					35	管路新設事業		35	・管路新設事業	新規	-	管路の新設(浄水場再整備事業関連、低水圧地区解消、給水管重複化解消等) ※給水区域等拡張に伴う管路の新設は含まない
				2.3 適正な維持・修繕による水道施設の長寿命化	17	水道施設状況の適正把握		17	・水道施設台帳の整備・更新	継続	22	水道施設台帳の整備・更新、配水管図・給水戸番図修正
					18	水道施設情報管理のシステム化の検討		18	・水道施設情報管理のシステム化の検討	新規	-	水道施設情報のシステム化の検討
					19	水道施設長寿命化計画の推進		19	・水道施設長寿命化計画の推進	新規	-	長寿命化計画の進捗管理と適時改定。施設点検の実施。
					20	計画的な維持修繕の実施(計画修繕)		20	・計画的な維持修繕の実施(計画修繕)	新規	-	修繕計画の策定、実施。
					21	漏水防止対策事業		21	・漏水防止対策事業	継続	23	漏水調査。効率的で効果的な漏水防止対策の検討。配水管図・給水戸番図及びメーター・ピット新設は移管
				2.4 危機管理体制の強化による防災力の向上	19	水道事業継続計画の推進		19	・水道事業継続計画(BCP)の推進	継続	30	市業務継続計画(BCP)【地震・津波災害対策編】、新型インフルエンザ等BCP、情報セキュリティBCPなど
					20	危機管理対策マニュアルの充実		20	・危機管理対策マニュアルの充実と教育・訓練の実施	継続	31,32,33	危機管理マニュアルの見直し:地震災害、テロ、原子力災害、洪水、水質事故、停電、クア、応急給水計画の見直し、災害訓練の実施。新たな漏水修理訓練の検討・実施
					21	応急資器材・体制等の整備		21	・災害時通信手段の確保	継続	37	無線通信設備の更新、災害用携帯電話の更新
					22	応急資器材の備蓄と適正管理		22	・応急資器材の備蓄と適正管理	継続	38	応急資器材の計画的備蓄と維持管理(非常用飲料水袋(6L)の備蓄等)、災害倉庫の更新・整備
				3.1 効率的な組織体制の構築と人材育成の充実による組織力の強化	22	効率的な組織体制の構築と適正な定員管理		22	・効率的な組織機構の検討と適切な人員管理	継続	50	効率的な組織機構の検討と適切な人員管理、上下水道統合の検討、経験年数を考慮した人事配置に関する働きかけ。
					23	専門性に富む人材の育成		23	・職員教育の充実と求められる技術力の確保	継続	39	人材育成方針の管理と適時改定。技術の継承。外部派遣研修及び内部研修の実施。各種スキルアップ研修の実施。OJTの推進。資格取得。
				3.2 効率的で効果的な運営による経営基盤の強化	24	適正な水道料金制度の維持・検証		24	・将来の事業環境を見据えた水道料金制度の検討	継続	45	基本料金と水量料金の割合や増減制等の料金制度の検討、将来の事業環境を見据えた料金制度への改定
					25	財務体質の強化		25	・財政収支計画の推進	新規	-	財政収支計画のローリングと公表
					26	企業債管理の適正化		26	・企業債管理の適正化	継続	43	企業債管理方針の策定と進捗管理と適時改定
					27	アセットマネジメントの活用推進		27	・アセットマネジメントの活用推進	継続	44	アセットマネジメントの実践と見直し
					28	財政支援等の要望と新たな財源確保の推進		28	・財政支援等の要望と新たな財源確保の推進	継続	46,48	国等への要望。新たな財源確保策の調査検討、水道局所有地売却、貸付、適正管理(運用)、広告収入、資金運用など
					29	新たな官民連携による業務改善の検討		29	・新たな官民連携による業務改善の検討	新規	-	官民連携の調査・検討。DB、DOB、DBM、PPP等の検討
					30	業務改善の推進		30	・業務改善の推進	継続	51,52	業務改善の調査・検討。職員提案の実施。採用案件の事業への反映。職員提案制度の改善検討
					31	水道電算処理システムの改善とICT活用の推進		31	・水道電算処理システムの改善	継続	40,41,42	上下水道料金処理システムの改善。財務会計システム・契約管理システム等の改善。職員用パソコンの改善。設計積算システムの改善。浄水場データ収集システムの改善。
					32	ICT活用による業務の効率化の検討		32	・ICT活用による業務の効率化の検討	新規	-	新たなICT活用の検討。電子入札導入の検討。スマートメーター導入の検討。
					33	経営プランの進捗管理と評価		33	・経営プランの進捗管理と評価 ※計画の名称により変更	継続	53	新たな経営計画の進捗管理
				3.3 環境対策の推進による環境負荷の低減	29	環境対策の推進		29	・市循環型オフィスづくり行動計画の推進	継続	54	循環型オフィスづくり構想計画の推進。環境物品購入の促進、昼休みの消灯の啓発など
					30	再生可能エネルギー利用と省エネルギー対策の推進		30	・再生可能エネルギー利用と省エネルギー対策の推進	継続	55	太陽光及び小水力発電の導入検討、次世代自動車の導入、高効率設備等の採用
					31	発生抑制を主眼とした3Rの推進と適正処理		31	・発生抑制を主眼とした3Rの推進と適正処理	継続	56	浄水場の発生土の適正保管・処分・リサイクル、建設副産物の抑制と適正処理
				3.4 効果的な広報広聴活動によるお客さまとのコミュニケーションの推進	30	求められる情報の積極的な提供とお客さま意見の把握		30	・戦略的でわかりやすい広報の推進	継続	58,59	広報戦略の進捗管理と適時改定。広報紙、各種パンフ
					31	電子媒体を活用した情報提供の推進		31	・電子媒体を活用した情報提供の推進	継続	60	ホームページの活用、SNS活用の検討、オープンデータの検討
					32	お客さま意識調査等の実施		32	・お客さま意識調査等の実施	継続	61	使用者アンケートの実施、大口使用者アンケート
					33	水が潤うまちづくりの推進		33	・水に親しむまちづくりの推進	継続	57,62	水道週間イベントの実施、ボトルウォーターの製作、出前講座等、施設見学
				3.5 関係者等との連携・協働の推進による水道サービスの向上と水道基盤の強化	32	水道サービスの充実		32	・修繕体制の充実	継続	63	修繕体制の充実(日曜休日等相談業務委託)。公道漏水の初動体制の確立(緊急修繕委託)
					33	指定給水装置工事事業者等との連携		33	・指定給水装置工事事業者等との連携	継続	64	指定給水装置工事事業者関係
					34	お客さま手続サービスの利便性向上		34	・お客さま手続サービスの利便性向上	継続	65	電子マネー、口座振替受付サービスの導入調査、口座振替の加入促進
					35	他水道事業者からの水質検査受託の継続		35	・他水道事業者からの水質検査受託の継続	継続	47	【広域連携】双葉地方からの受託水質検査の継続
					36	関係者等との連携による水道基盤の強化		36	・関係者等との連携による水道基盤の強化	新規	-	【広域連携】官民連携【隣接自治体連携(水質汚濁防止協議会)、災害協定の締結・継続など

新たな経営計画と現行経営計画の事業展開対比表

現行計画			新たな経営計画		主な事業内容等
No.	事業名称		No.	事業名称	
1	・水安全計画の推進	継続	1	・水安全計画の推進	水安全計画の進行管理と改定
2	・水道水源の監視強化	統合	2	・水道水源の保全と監視強化	水源河川監視、ゴルフ場の排水調査、小野町廃棄物最終処分場の立入調査、隣接自治体連携、水源保全基金事業、水源地清掃活動
4	・水道水源保全啓発事業	継続(名称変更)	3	・水道水源水質保全促進事業補助金の交付	合併浄化槽補助、農集接続補助
3	・水道水源の水質保全補助事業	統合	4	・安全でおいしい水道水の調査研究	高度浄水処理方式(浄水課)、効率的な浄水処理方式の調査検討(浄水課)、追加塩素注入設備安定運用のための調査検討(配水課)
5	・高度浄水処理方式の調査検討		5	・水質検査計画の策定と推進	水質検査計画の策定(毎年)。水質検査。クリプト及びダイオキシン類調査
6	・追加塩素注入設備整備の検討		6	・水質検査機器の計画的整備・更新	水質検査機器の購入・更新
7	・連続自動水質監視装置整備の検討		7	・水道GLP認定の取得と維持	水道GLPの認定の取得、維持
8	・水質検査計画の策定と推進	継続	8	・放射性物質モニタリングの継続	放射性物質モニタリングの実施と公表、検査機器の更新
9	・水質検査機器の計画的更新	継続(名称変更)	9	・貯水槽水道の適正管理の推進	貯水槽水道の適正管理の啓発。貯水槽水道台帳の整備更新
		新規	10	・直結給水・直結増圧給水の推進	直結給水及び直結増圧給水の推進
10	・放射性物質モニタリングの実施	継続(名称変更)	11	・鉛製給水管の布設替と注意広報の実施	鉛給水管解消計画の推進及び解消事業の実施。鉛給水管の注意喚起。鉛給水管台帳の整備更新
11	・貯水槽水道の適正管理啓発活動、無料点検の実施	継続	12	・多様な手法による水供給の研究	多様な手法による水供給による給水区域内未給水地区解消の検討
12	・直結給水・直結増圧給水の推進	継続	13	・水道施設再構築構想の推進	水道施設再構築構想の進捗管理と適時改訂
13	・鉛製給水管の布設替と注意広報の実施	継続	14	・浄水場再整備事業	浄水場の再整備事業
14	・多様な手法による水供給の研究	継続	15	・水道施設のダウンサイジングの検討	水道施設のダウンサイジングとスペックダウンの検討。施設規模の適正化。適正口径での更新。管路の単線化の推進など
15	・水道施設再構築構想の推進	新規	16	・水道施設の効率的な運用	効率的な水運用の検討。管理メーターブロックの検討。管網計算、水理計算ソフトの導入
		新規	17	・水道施設撤去等事業	水道施設(管路、配水施設、浄水施設)の撤去工事、構造物の撤去方針の策定、見直し
16	・水道施設の効率的な運用	継続	18	・水道施設整備計画の推進	水道施設整備計画の進行管理と適時改訂
20	・水道施設撤去等事業	継続(名称変更)	19	・水道施設新設事業	浄水施設の新設、配水施設の新設 ※管路の新設は管路整備事業 ※庁舎設備の新設含む ※給水区域等拡張に伴う施設の新設は含まない
21	・水道施設更新計画及び耐震化計画の推進	分割(名称変更)	20	・水道施設更新事業	浄水施設の更新、配水施設の更新 ※施設単位での更新含む ※庁舎設備の更新及び庁舎の再整備含む
18	・浄水施設整備事業	統合	21	・水道施設耐震化計画の推進	水道施設耐震化計画の進行管理と適時改定 ※管路の事業展開は管路整備計画
19	・配水施設整備事業	統合	22	・水道施設耐震化事業	水道施設の耐震化の実施(生活基盤施設耐震化等交付金事業 1/4)
28	・浄水施設更新事業		23	・水道施設津波・浸水対策計画の推進	水道施設津波・浸水対策計画の進行管理と適時改定
29	・配水施設更新事業		24	・水道施設津波・浸水対策事業	水道施設津波・浸水対策の実施(水道水源開発等施設整備費国庫補助金事業 1/3)、本庁舎の浸水対策の実施
21	・水道施設更新計画及び耐震化計画の推進		25	・水道施設土砂災害対策計画の推進	水道施設土砂災害対策計画の進行管理と適時改定
26	・浄水施設耐震化事業	統合	26	・水道施設土砂災害対策事業	水道施設土砂災害対策の実施(水道水源開発等施設整備費国庫補助金事業 1/3)
27	・配水施設耐震化事業	新規	27	・水道施設停電対策計画の推進	水道施設停電対策計画の進行管理と適時改定
			28	・水道施設停電対策事業	水道施設停電対策の実施(水道水源開発等施設整備費国庫補助金事業 1/4)
			29	・管路整備計画の推進	管路整備計画の進行管理と適時改定
			30	・基幹浄水場連絡管整備事業	基幹浄水場連絡管の整備
17	・基幹浄水場連絡管整備事業	継続	31	・重要給水施設配水管整備事業	重要給水施設配水管の耐震化(生活基盤施設耐震化等交付金事業 1/4)
25	・重要給水施設配水管整備事業	継続	32	・老朽管更新事業(基幹管路(導水管、送水管、配水本管))	導水管路線、送水管路線、水系統線、配水本管路線の更新(生活基盤施設耐震化等交付金事業 1/3)
		継続	33	・老朽管更新事業(配水支管 φ200mm以上)	配水支管φ200mm以上の老朽管更新
24	・老朽管更新事業		34	・老朽管更新事業(配水支管 φ200mm未満)	配水支管φ200mm未満の老朽管更新
			35	・管路新設事業	管路の新設(低水圧地区解消、給水管重複化解消等) ※給水区域等拡張に伴う管路の新設は含まない
			36	・水道施設台帳の整備・更新	水道施設台帳の整備・更新、配水管図・給水戸番図修正
22	・水道施設台帳整備事業	継続(名称変更)	37	・水道施設情報管理のシステム化の検討	水道施設情報のシステム化の検討
		新規	38	・水道施設長寿命化計画の推進	長寿命化計画の進行管理と適時改定。施設点検の実施。
		新規	39	・計画的な維持修繕の実施(計画修繕)	修繕計画の策定、実施。
		新規	40	・漏水防止対策事業	漏水調査。効率的で効果的な漏水防止対策の検討。配水管図・給水戸番図及びメータービット新設は移管
23	・漏水防止対策事業	継続	41	・水道事業継続計画(BCP)の推進	市業務継続計画(BCP)【地震・津波災害対策編】、新型インフルエンザ等BCP、情報セキュリティBCP
30	・水道事業継続計画(BCP)の推進	統合	42	・危機管理対策マニュアルの充実と教育・訓練の実施	危機管理マニュアルの見直し:地震災害、テロ、原子力災害、漏水、水質事故、停電、クリプト、応急給水計画の見直し、災害訓練の実施。新たな漏水修理訓練の検討・実施
31	・水道危機管理マニュアルの推進		43	・災害時通信手段の確保	無線通信設備の更新、災害用携帯電話の更新
32	・水道危機管理マニュアル等に基づく各種訓練の実施		44	・応急資器材の備蓄と適正管理	応急資器材の計画的備蓄と維持管理(非常用飲料水袋(6L)の備蓄等)。災害倉庫の更新・整備
33	・応急給水計画の推進		45	19.20へ統合	施設点検の実施。水道施設安全対策工事
37	・災害時通信手段の確保	継続	46	19.20へ統合	緊急遮断弁の改良(電動弁等)。緊急遮断弁の運用方法の検討
38	・応急資器材の備蓄と適正管理	継続	47	・効率的な組織機構の検討と適切な人員管理	効率的な組織機構の検討と適切な人員管理、上下水道統合の検討、経験年数を考慮した人事配置に関する働きかけ。
34	・水道施設安全対策事業	統合廃止	48	・職員教育の充実と求められる技術力の確保	人材育成方針の管理と適時改定。技術の継承。外部派遣研修及び内部研修の実施。各種スキルアップ研修の実施。OJTの推進。資格取得。
36	・緊急遮断弁整備事業	統合廃止	49	・将来の事業環境を見据えた水道料金制度の検討	基本料金と水量料金の割合や増増制等の料金制度の検討、将来の事業環境を見据えた料金制度への改定
50	・定数・組織、制度の検討、実施	継続(名称変更)	50	・財政収支計画の推進	財政収支計画のローリングと公表
39	・人材育成の充実	継続(名称変更)	51	・企業債管理の適正化	企業債管理方針の策定と進行管理と適時改定
45	・需要実態を反映した水道料金制度の検討	継続(名称変更)	52	・アセットマネジメントの活用推進	アセットマネジメントの実践と見直し
		新規	53	・財政支援等の要望と新たな財源確保の推進	国等への要望。新たな財源確保策の調査検討、水道局所有地売却、貸付、適正管理(運用)、広告収入、資金運用など
43	・企業債発行の適正化	継続(名称変更)	54	・新たな官民連携による業務改善の検討	官民連携の調査・検討。DB、DBO、DBM、PPP等の検討
44	・アセットマネジメントの活用推進	継続	55	・業務改善の推進	業務改善の調査・検討。職員提案の実施。採用案件の事業への反映。職員提案制度の改善検討
46	・遊休資産の有効活用の推進	統合	56	・水道電算処理システムの改善	上下水道料金処理システムの改善。財務会計システム・契約管理システム等の改善。職員用パソコンの改善。設計積算システムの改善。浄水場データ収集システムの改善。
48	・財政支援等の要望と新たな財源確保の推進		57	・ICT活用による業務の効率化の検討	新たなICT活用の検討。電子入札導入の検討。スマートメーター導入の検討。
			58	・経営プランの進行管理と評価 ※計画の名称により変更	新たな経営計画の進行管理
			59	・市循環型オフィスづくり行動計画の推進	循環型オフィスづくり構想計画の推進。環境物品購入の促進、昼休みの消灯の啓発など
51	・業務改善の推進	統合	60	・再生可能エネルギー利用と省エネルギー対策の推進	太陽光及び小水力発電の導入検討、次世代自動車の導入、高効率設備等の採用
52	・職員提案の事業運営への反映		61	・発生抑制を主眼とした3Rの推進と適正処理	浄水場の発生土の適正保管・処分・リサイクル、建設副産物の抑制と適正処理
40	・上下水道料金処理システムの改善		58	・戦略的でわかりやすい広報の推進	広報戦略の進行管理と適時改定。広報紙、各種パンフレット作成
41	・財務会計システムの改善		59	・電子媒体を活用した情報提供の推進	ホームページの活用、SNS活用の検討、オープンデータの検討
42	・「地域情報化推進計画」の推進	継続	60	・お客さま意識調査等の実施	使用者アンケートの実施、大口使用者アンケート
		継続	61	・水に親しむまちづくりの推進	水道週間イベントの実施、ボルドウォーターの製作、出前講座等、施設見学
53	・中期経営計画の進行管理と評価	新規	62	・修繕体制の充実	修繕体制の充実(日曜休日等相談業務委託)。公道漏水の初動体制の確立(緊急修繕委託)
54	・「市循環型オフィスづくり行動計画」の推進	継続(名称変更)	63	・指定給水装置工事事業者等との連携	指定給水装置工事事業者関係
55	・再生可能エネルギー等環境対策の推進	継続(名称変更)	64	・お客さま手続サービスの利便性向上	電子マネー、口座振替受付サービスの導入調査、口座振替の加入促進
56	・浄水発生土の適正管理と有効利用の検討	継続(名称変更)	65	・他水道事業者からの水質検査受託の継続	双葉地方からの受託水質検査の継続
58	・戦略的な広報の推進	統合	66	・関係者等との連携による水道基盤の強化	隣接自治体連携(水質汚濁防止協議会)、災害協定の締結・継続など
59	・経営内容のわかりやすい広報				
60	・電子媒体を活用した情報提供の推進				
61	・お客さま意識調査等の実施				
57	・環境教育の推進	統合			
62	・水に親しむまちづくりの推進				
63	・修繕体制の充実				
64	・給水装置工事事業者等との連携				
65	・お客さま手続サービスの利便性向上	継続(名称変更)			
47	・他水道事業者からの水質検査受託の継続	継続			
		新規			
49	・入札制度の適正化	廃止			